



身近な自然に触れて発見を楽しもう

園長 米澤 千秋

1月は季節はずれの温かさが感じられたと思えば、記録的な寒波の影響で全国的に厳しい寒さが続いています。大雪災害等が発生した地域の皆様には、お見舞い申し上げます。

子どもたちはそのような寒さの中、縄跳びや鬼遊び、自分で作った凧揚げなど、青柳小学校の校庭もお借りしながら、戸外で元気に遊んでいます。

もうすぐ暦の上では立春です。寒い日々から、少しずつ暖かさを感じるようになる2月から3月は、身近な自然に触れる中で、様々な発見があります。

ダイコンの収穫

10月に種蒔きをして大切に育ててきたダイコンを収穫しました。土の中でしっかり育ったダイコンを引き抜くのは力とコツが必要です。葉っぱを束ねて地面近くの部分を持って「よいしょ！」と引き抜くと、土が付いた白いダイコンが出てきました。「やったー！」「重たいなあ」「葉っぱがいっぱい！」「ちょっとザラザラしてる」「下のほうはヒゲみたい」など、直接触れたからこそその気付きがたくさんありました。「お味噌汁で食べたいな」「ダイコンラーメン?!食べたい！」など、楽しみに家庭に持ち帰りました。

サラダ、味噌汁、葉っぱのふりかけなどを作ってもらい、「甘かった」「すっごくおいしかった！」などの感想が聞かれました。自分で育てた採れたての野菜の味は格別です！

実験！氷できるかな？

寒い日が続いた日。先生はこの時期ならではの“気付き”を経験してほしいと考え、氷の実験を子どもたちに提案しました。前日置いておいたバケツの水が凍っていることを発見！一部穴が開いている氷を見て「土があったからじゃない？」と自分なりに考えたり、裏側が霜柱のような不思議な形をしていることを面白がったりしました。翌日以降も、容器によって凍り方が違ったり、日によって氷の厚みが違ったりすることに気付き、先生や友達と伝え合っています。



人に伝えたり共有したりすることで、自分の気付きが深まる姿にもつながっています。

春を見つけて

園庭をよく見てみると、梅の花がほころび始め、子どもたちが育てているチューリップやスイセンにも変化が見られます。「芽がでてきた！」「何色のお花が咲くかな...？」など、栽培物の変化に気付き、生長を楽しみにしながら世話をしています。

まだまだ寒い日が続きますが、季節は着実に春に向かっていきます。ぜひ親子で園庭や近くの公園、登降園の道すがら、身近な自然の変化や“春”を見つけてみてください。



先日のワクワクデーでは、正月遊びやカンガルー図書館、「それゆけ！音楽隊」の方々によるピアノ、チェロ、歌唱のハーモニーなどを親子で楽しんでいただきました。ご参加ありがとうございました。ご感想を一部抜粋して紹介します。

- カルタやコマ回しは普段あまり家でやらないので、園で体験出来て嬉しそうでした。大人も懐かしい気持ちで一緒に楽しみました。
- 子どもが、たぶん生まれて初めて「だるま落とし」をしたのですが、そんなに面白い？と思うほど熱心に遊んでおり、昔ながらのシンプルな遊びもやってみようと思いました。
- 子どもたちとのカルタ勝負で、子どもたちの大人顔負けの集中力が凄かったのが印象的でした。



- それゆけ音楽隊による生演奏がとても素敵でした。間近で聞くと、凄く迫力がありました。
- 本格的な楽器演奏を親しみのある曲で聴かせていただき、プロの演奏を観ることで、あおやぎ劇場パート2のステージへの良いお手本になったと思います。
- 本物の楽器の音色を聴くという体験は非常に良いしありがたい事だと感じました。
- 子どもたちもとても楽しんでいたので分かりましたし、参加できてよかったです。